

漫画家・棚園正一さんが原画を手掛ける ヤングケアラー啓発マンガの新作を発行します！

大府市は、ヤングケアラー啓発マンガの新作発表を記念し、これまでの2作品と新作を合冊した『ヤングケアラーを知っていますか？～家族のお世話をすることどもたち～』を発行します。

市では、令和4～6年度に愛知県の「ヤングケアラー支援モデル事業」を受託し、この事業の一環として啓発マンガを作成しています。いずれの作品も市内在住の漫画家・棚園正一さんが原画を担当しています。

「大府市人権を尊重した誰一人取り残さないまちづくり推進条例」の理念に基づき、こどもの人権問題であるヤングケアラーについて正しい理解を啓発し、こどもたちの人権が守られ、自分らしく生活できる社会の実現を目指します。

■『ヤングケアラーを知っていますか？～家族のお世話をすることどもたち～』の概要

新作『自分らしく前に進むために～ぼくはヤングケアラー？～』を含めた、全3作品を合冊して発行。原画は、市内在住の漫画家・棚園正一（タナゾノ ショウイチ）さんが担当。

内容／今回の新作に掲載する作品は、以下のとおり

発行	マンガのタイトルと概要
第1作 R5.3	『あなたはヤングケアラー？ ～相談してもいいんだよ～』 交通事故に遭い、家事や幼い兄弟の面倒をみることができない母親の代わりに頑張っている主人公を描く。
第2作 R6.3	『家族のために、そして私の夢に向かって ～わたしはヤングケアラー～』 精神的に不安定な母親を支え家族やアルバイトに追われる主人公を描く。
第3作 R7.3	『自分らしく前に進むために ～ぼくはヤングケアラー？～』 高次脳機能障害という後遺症の残った父親を見守り続ける主人公が、周りに相談しながら自分の気持ちに向き合う姿を描く。

発行／令和7年3月

発行部数／1,000部



発行費用／379,200 円

配布先／市内小中学校・児童老人福祉センター、大府市役所福祉総合相談室窓口

※デジタル版は市公式ウェブサイトで公開します。

■ 棚園正一さんプロフィール

大府市在住の漫画家。義務教育期間の小・中学校の9年間を不登校（長期欠席）として過ごす。13歳の時に漫画家・鳥山明氏に出会い、漫画家を志す。大学入学資格（現 高卒認定）を取得し、名古屋芸術大学に進学。著書に不登校（長期欠席）だった自身の経験を描いた『学校へ行けない僕と9人の先生』（双葉社）、『学校へ行けなかった僕と9人の友だち』（双葉社）、不登校（長期欠席）経験者16人のエピソードをマンガで描いた『マンガで読む 学校に行きたくない君へ』（ポプラ社）などがある。不登校（長期欠席）をテーマとした講演を全国各地で行っている。

大府市では、市発行のマンガでわかる成年後見シリーズ第1～3作、ヤングケアラー啓発マンガ第1～3作の原画を担当。令和6年8月には、講演会「学校だけが居場所じゃない！～オール大府で支える「長期欠席」「ひきこもり」支援」の講師を担当。

令和7年1月には、長期欠席支援の啓発サポーター「虹の架け橋サポーター」に就任し、幅広い分野で活躍を続けている。

■ 参考資料

マンガ冊子『ヤングケアラーを知っていますか？～家族のお世話をすることもち～』

【問い合わせ先】

大府市福祉総合相談室

担当：山下 智子（ヤマシタ サトコ）

電話：0562-45-6219 FAX：0562-47-3150 メール：sodan@city.obu.lg.jp